

(様式第4号)

上田市上野が丘公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	第3回上田市上野が丘公民館運営審議会
2 日時	令和3年3月23日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	上野が丘公民館 1階 第1学習室
4 出席者	井出操会長、春原一博副会長、櫻井記子委員、洞口秀子委員
5 市側出席者	馬場陽子館長、小林正樹次長、北原敦主事 堀絹子社会教育指導員、三井和哉社会教育指導員、
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年3月25日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ (井出会長) (馬場館長)
3 協議事項
(1) 令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について
(事務局) 資料に基づき、各担当者から説明
(委員) コロナ禍で何もできないというのではなく、屋外で行うなど工夫をして、事業実績を残すことが大切。参加者の意見を聞き記録を残しておくことが大事。
(委員) 公民館だよりで、講座関連の参加方法がわかりにくい。(公民館だよりが回覧となったため、じっくり確認できないからか。) 地域の方から回覧となったことへの反響あったか。各戸配布は難しいのか。
(事務局) 回覧へ変更になった当初は戸別配布を望む声もいただいた。地域のコンビニエンスストア、金融機関へ配置して対応している。回覧となったものを各戸配布に戻すことは、たとえ自治会から了解を得られたとしても、個別に届けるなどの方法になってしまうため難しい。ホームページやフェイスブックにも掲載しているが、高齢の方にはなかなか使いづらいため、それらを見る方法なども伝えていけたらと考えている。
(委員) コロナ禍では、徐々に理解は進んだが、当初差別が多かった。それぞれの心の中にいろいろな差別があることを実感した。人権については、様々な方法で人権同和教育が必要かと思う。
(委員) 差別には様々なものがあるので、同和教育だけでなくいろいろな切口での教育が必要。また、継続した勉強が必要である。
(委員) 講演会というようなものでなく、講師を呼ぶにしても気楽に話し合える場がほしい。
(委員) 介護の現場を見ると、人生の最後の場面で、介護される側、する側も対等であるはずなのに、される側が高圧的である場合がある。人生の最後をより良いものにするために社会教育を学ぶ必要があるのではないか。
(委員) 人権について、青少年や成人にも絡めた講座があるといい。
(委員) 利用者団体の「福祉施設支援活動」について、公民館では把握しているのか。
(事務局) 今年度はコロナ禍であまり活動がなかった。それ以前は1団体が複数回、訪問したと聞いている。
(委員) 修繕について、上野が丘公民館が避難場所であることを踏まえて、優先順位を考えて対応してほしい。
(委員) 学社連携事業として、学校支援とあるが何か。
(事務局) 財政的な支援ではなく、相談ごとがあった時や事業サポートなどの支援を継続してやってきている。

4 その他

事務局から報告事項

- (1) 集団ワクチン接種に伴う上野が丘公民館の利用制限について
- (2) 延期となっている成人式の状況について
- (3) その他
公民館利用に係る減免について
個別施設計画について

5 閉会